

第5回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会 会議録

1. 開催日時 平成24年12月20日（木）午後4時00分～午後5時00分
2. 開催場所 豊橋市役所東41会議室（東館4階）
3. 出席者 委員8名（石原委員長、世羅副委員長、伊藤委員、大久保委員、
功刀委員、諏訪委員、富田委員、村松委員）
豊橋市4名（金田総務部長、古池行政課長、牧野行政課主幹、仲
井行政課長補佐）
4. 欠席者 なし
5. 会議概要 以下のとおり

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	定刻となりましたので、ただ今から、第5回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 開会にあたりまして総務部長の金田より一言ご挨拶を申し上げます。
総務部長	本日はご多忙の中ご出席いただきまして、ありがとうございます。 外部視点による行財政改革プランの取組状況の検証につきましては、ご承知のとおり今年度から新たにスタートしたもので、試行錯誤を繰り返しながらも、当初のスケジュールに沿って事務を進めることができました。 これも委員の皆様のご協力のおかげと感謝しております。 本日は、今年度の運営を振り返るとともに、来年度の実施計画案などをお示ししたいと考えております。皆様からご意見をいただきまして、来年度のより効果的な評価検証事務に生かしてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
事務局 (行政課長)	それでは、ここからは石原委員長に進行をお願いしたいと思います。 委員長、よろしくお願いいたします。
石原委員長	それでは、ただいまから議事に入ります。次第3の(1)、「平成24年度運営方法等」について、事務局より説明を願います。
事務局 (行政課主幹)	お手元の資料の1ページをご覧ください。 今年度の主な課題といたしまして、内部評価の面から3点ほど、外部評価の面から4点ほど説明いたします。

発言者	要 旨
事務局 (行政課主幹)	<p>まず内部評価の課題の1点目ですが、各課の作成する評価シート目標欄や成果欄の記載にばらつきがあるというものです。目標の記載が明確でなかったり、成果欄に目標に対応した実績が記載されていなかったりする場合があります。</p> <p>2点目は、内部評価の達成度を判断する理由や、今後の展開についての記載が明確でないという点です。</p> <p>3点目は、内部評価の達成度の判断基準であるA～Dが、どの程度達成すればAなのかといった基準が不明確だったという点です。各レベルの客観性を高める必要があると思っております。</p> <p>これらの課題については、評価実施要領の修正や担当課向けの説明会の開催を通じて対応してまいりたいと考えております。</p> <p>次に、外部評価に関する課題に移りたいと思います。今年度は158取組全てを評価していただきましたが、その中で見えてきた課題を説明させていただきます。</p> <p>1点目は、外部評価の妥当・要検討の評価基準に関する課題です。今年度の外部評価では、内部評価の達成度が明確でないにもかかわらず、主に目標を達成したかどうかで外部評価を判断しており、判断しづらいケースがあったかと思っております。今後、取組の手法や効果などを評価していただく形への変更を検討したいと考えております。</p> <p>2点目は、外部評価の実施件数に関するものです。今年度は外部評価初年度ということもあり、全取組の外部評価を原則とし、委員お一人当たり30～35取組の評価をお願いしました。来年度は外部評価2年目になりますので、全体で60～70取組程度の評価をお願いしたいと思っております。外部評価をお願いする取組の内訳としましては、今年度の外部評価が要検討であったもの、25年度の内部評価の達成度がDのもの、そして24年度が検討期間となっており、取組実績のなかったもので25年度が取組初年度となるものです。</p> <p>3点目は、委員間の評価調整に関する点です。今年度は委員お二人でひとつの取組の外部評価をしていただき、委員お二人の外部評価が異なった場合は、要検討を優先しました。今後は、委員間の外部評価を調整し、外部検証委員会の評価として妥当か要検討かを出していく形にしてはどうかと考えて</p>

発言者	要 旨
事務局 (行政課主幹)	<p>おります。</p> <p>最後に、公開ヒアリングに関する課題を説明いたします。公開ヒアリングにお越しいただいた市民の方にアンケート調査をしたところ、ヒアリングの実施については良い評価をいただけたことから、来年度も公開ヒアリングを実施したいと考えております。ヒアリングの対象となるテーマの選定基準については、今年度と同じく市民に身近なものを中心とする方向で、また、ヒアリング対象取組の数についても、今年度と同じく8～10取組程度を想定しております。1取組あたりのヒアリング時間も、アンケート結果から見て今年度と同じ1時間を考えています。アンケート結果から見た来年度の改善点としましては、来場者向けの説明資料をグラフなどを使用しよりわかりやすくすることと、ヒアリング後に委員会としての結論を出すことが必要になってくると思っております。</p>
石原委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。
村松委員	外部評価の対象取組を60～70取組にする点について、外部評価の対象としない取組はどうやって進捗管理していくのか。
総務部長	基本的に今年度の内部・外部評価で順調に進んでいるものについては、外部評価からは外してもよいのではないかと考えています。今年度の外部評価が要検討のものや、取組の進捗が思わしくないものは委員の皆さんに見ていただき、進捗管理を行っていきたいと考えております。外部評価に関しては、数をこなすよりも、評価の深度を重視していきたいという提案です。
伊藤委員	外部評価での委員間の評価調整についてだが、統一する必要があるのか。
総務部長	今年度の外部評価では、委員によって評価が異なるもののほか、委員によって評価する視点自体が違うものがありました。内部評価が曖昧であるという課題を改善したうえで、という前提はありますが、内部評価が妥当かどうかで評価していたものを改善し、その上で委員の皆さんがどこをポイントに評価するのか、というところを決めておかなければならないと感じました。

発言者	要 旨
村松委員	外部評価の妥当・要検討の判断基準が曖昧であったことが、そもそもの問題ではないのか。
事務局 (行政課長)	以前、取組のプロセス評価について提言していただきましたが、そういった点などにも留意する中で、われわれがその点を見落としていたという反省点をくんで、今後は評価基準を明確にしていきたいと思っております。
石原委員長	外部検証委員会という名のもとに統一見解を出すのは望ましい。原則として一つの意見に集約できるといいのではないのか。
功刀委員	外部評価が、内部評価そのものを評価するだけにならないようにしてほしい。今年度は、限られた資料の中で事業の評価が難しく、結果的に内部評価を見るしかなくなっていた。
総務部長	その点は評価基準の明確化など、工夫していきたいと思っております。
事務局 (行政課長)	公開ヒアリングについてですが、ヒアリング項目ごとに最後のまとめの部分をどうするかという点が課題だと感じました。担当課の職員からは、委員会としての意見を出してほしいとの要望もありました。
大久保委員	1時間という限られた時間の中では、委員会としての総括まではたどり着けないと思う。
石原委員長	公開ヒアリングの後にもう一度委員会で集まることができれば、意見を集約することができるのではないのか。この時間の確保の仕方について、事務局でもう一度検討をお願いします。続きまして、次第3の(2)、「平成25年度実施計画等」について、事務局より説明を願います
事務局 (行政課主幹)	<p>それでは、資料の3ページをご覧ください。</p> <p>来年度の行財政改革プランの進め方としましては、4月上旬に第1回目の外部検証委員会を開催して、その際に外部評価の対象となる評価シート配布します。委員の皆さまには、5月上旬までに外部評価を行っていただき、5月中旬に開催予定の第2回外部検証委員会では、外部評価の確認と決定を行いたいと思っております。</p> <p>次に、公開ヒアリング対象項目の選定ですが、今年度、検討時間が少なかったとの反省から、5月下旬ごろには対象項目を決定し、6月中旬までには委員の皆様へ資料を送付する計画です。</p> <p>来年度の公開ヒアリングは7月6日を予定しており、その後、</p>

発言者	要 旨
事務局 (行政課主幹)	取組状況報告書の作成・公表を行い、再来年度予算への反映などをしていただいております。
石原委員長	ただ今の説明についてご意見・ご質問はありますか。
諏訪委員	公開ヒアリングに関して、市民の意見はアンケートで理解できたが、市の職員の意見はどうだったのか。
事務局 (行政課長)	アンケートは取っておりませんが、個別に聞いた意見の中では、ヒアリングが厳しかったというものもあれば、ヒアリングを通じて課の取組をPRできたという意見もありました。
総務部長	自分の受けた印象ですと、職員の間では普段自分がしている仕事を説明できるいい機会だと捉える人が多かったように感じます。仕事内容を責められる、などのように感じる者は少なかったと思います。
事務局 (行政課長)	例えば、都市交通に関する取組では、2路線の地域関係者が出席し、双方の課題や共通点などを理解できたとの意見もありました。
世羅委員	アンケートを見ると、参加者の中で女性の割合が少ないのが気になる。また、今年度のヒアリングは市民からは意見のみという形で進行した結果、市民からの質問を受け付けるべき、との意見があるが、来年度はどのようなスタンスでいくのか。
総務部長	ヒアリング時間の制約もあるので、基本的には委員と当局の議論を見てもらう形で進めていく方針です。来年度もアンケート内に意見を記入できるようにして対応していきたいと考えております。
世羅委員	アンケート結果の中で、委員の発言回数を増やした方がいいという意見があるが、委員間で事前に意見調整する方向でヒアリングに臨むべきなのか。
総務部長	公開ヒアリングでは4人の委員が担当課と議論をするものですから、それぞれの視点で意見を言っていただきたいと思います。
世羅委員	そうすると、先にあったヒアリングのその場で委員会として統一した意見を出すのは難しいのでは。
総務部長	石原委員長の言われたとおり、ヒアリング後に委員会としての意見をまとめる機会が必要だと考えております。
諏訪委員	先ほどの議論の中で、委員間の意見調整に関する部分について、ヒアリング初年度であった今年度は比較的易しいテーマ

発言者	要 旨
諏訪委員	を選んだが、次年度以降は課題のあるものを中心に選んでいく。委員間の意見調整が更に難しくなるのではないか。
村松委員	公開ヒアリング時の配布資料の問題だが、もう少し分かりやすいものを配布したほうがよい。市の事業を公開する場なので、傍聴者に不満を残さないようにお帰りいただきたい。
総務部長	意見調整に関しても、配布資料に関しても、工夫の余地はありますので、今後改善していきたいと思っております。
石原委員長	今年度も公開ヒアリング時のアンケートにあったが、傍聴にきた市民が市の事業に対する意見を書けるようにした方がよいのではないか。
総務部長	今年度もありましたが、アンケートの取り方にも工夫できる余地はありますので、今後改善を図ってまいりたいと思えます。市民の方にも委員のように取組が妥当か要検討かを判断してもらうのもよいのでは、と考えております。
石原委員長	<p>総務部長が言われたように、われわれが外部評価するのと同じような評価をしてもらえば、傍聴者の方に満足して帰ってもらえるのではないかと思います。事務局におかれましては、皆様から出されましたご意見を来年度の運営に是非生かしていただくよう、お願いいたします。</p> <p>以上で本日の外部検証委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。</p>
事務局 (行政課長)	<p>長時間にわたるご審議ありがとうございました。本日いただきましたご意見を来年度の運営に生かしてまいりたいと考えておりますので、引き続きご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>